

1. 会長挨拶（高山会長）

- 昨日の雨とは、打って変わって本日は、快晴となりました。獨協医科大学の銀杏並木の紅葉も盛りとなっております。
- 先日（10月24日）地区大会本会議に参加して参りました。コロナ禍でも他クラブでは、色々な活動をしているようです。当クラブも今月は「第18回全国藩校サミット壬生大会」への後援・参加があります。また、来年1月には地区補助金事業「壬生町環境ポスター展」の開催という今年度の主要なイベントが続きます。成功裏に収めたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。
- 報告として、先月の理事会にて承認されました「壬生ロータリークラブ封筒」1,000枚を作成しましたので、ご利用の際は申し出て下さい。
- 篠原会員よりの情報で「全国藩校サミット壬生大会」応援プロジェクトの一環で「鳥居忠英公 お殿様の印」が発売されますので、興味のある方は申込をお願いします。
- 新井会員より「特定非営利活動法人みぶまち地域活性化21」の「子ども等の居場所づくり事業への支援のお願い」の情報が寄せられましたので、回覧致します。
- 茂木宏之会員より退会の願いがありましたことをご報告致します。何とか退会を考え直して頂けるよう皆さんからも話して頂きたいと思えます。
- 来月の12月1日（水）は、第6グループ会長・幹事就任挨拶のため各クラブより来訪がありますので、会員皆様の出席をお願い致します。

2. 幹事報告（中山健幹事）

- 地区より「地区委員・クラブ会長・幹事/名簿作成 原稿依頼について」が届いております。
- 地区より「地区ローターアクト2021-2022年度 第47回 地区年次大会のご案内 地区大会テーマ『未来につなぐ』」が届いております。

日程：令和3年11月28日（日）ZOOMにて開催（ホテルニューイタヤより中継）

- 第50回ロータリー研究会より「2021-22年度 国際ロータリーゾーン1A, 2, 3 第50回ロータリー研究会 記念講演会 オンライン視聴のご案内」が届いておりますので、週報と一緒にメール配信致します。（日時：2021年12月8日（水）開場14:30 開会15:00）
- 日本事務局より「ロータリー財団月間リソースのご案内」が届いております。
- 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま Vol. 259」が届いております。以上回覧致します。
- 本日は、理事会がありますので、理事の方はよろしくお願い致します。
- 尚、私の仕事上（保険業務）の話なのですが、交通事故に遭って車の修理をしようにも、今は部品が無い状況です。新型コロナの影響でインドネシア、タイ、ベトナムなどの自動車部品生産国を中心に、ワクチン不足でパンデミックが発生し、ロックダウンや、移動の制限、戒厳令に近い状態に陥ったため、それぞれの部品を製造するのが簡単ではないということです。ですから皆さんも車の運転には充分気を付けて下さい。また、コロナ禍でリストラされた社員が、腹いせに会社のドアを壊したため、火災保険で補ったなどのことがありましたので、今後どのようなことが起きるか分かりませんので、火災保険にも入っておきましょう。

3. ニコニコ親睦ボックス (新井例会企画・友愛・家族・ニコニコ・親睦ボックス委員長)

- ・高山会長 (町教育委員会よりポスター展の後援等承認を頂きました。会員の皆様の一層のご協力をお願い致します)
- ・中山健幹事 (川嶋会員の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します)
- ・栗原会員 (久しぶりの川嶋会員の例会卓話楽しみです！)
- ・安楽会員 (コロナ感染者の激減は、皆様の努力の賜物です)
- ・松本会員 (お蔭様で自叙伝ができました。お目通し頂ければ幸いです。できましたらご家庭でお読みくださればと存じます)
- ・黒川会員 (川嶋会員の卓話楽しみです。宜しくお願い致します)
- ・刀川会員 (川嶋会員の卓話期待します)
- ・渡邊会員 (川嶋会員の卓話楽しみです)
- ・川嶋会員 (今日は、久しぶりの卓話です。よろしくお願い致します)
- ・奈良部会員 (松本幸三先生、自叙伝をありがとうございます)
- ・篠原会員 (コロナだいぶ収まってきました。でも油断大敵です)
- ・広瀬会員 (卓話よろしくお願い致します)
- ・中山博文会員 (よろしくお願い致します)
- ・福田会員 (よろしくお願い致します)
- ・新井会員 (よろしくお願い致します)



本日のニコニコボックス投入額：12,000円

親睦ボックス投入額：19,000円

合計：31,000円

累計：146,000円

4. 本日の花言葉 (新井例会企画・友愛・家族ニコニコ親睦委員長)

- ・ホワイトジンジャー (豊かな心) [ショウガ科の植物で、生姜と草姿は似ていますが、食用ではなく、花を楽しむ多年草です。和名では「花縮砂 (ハナシュクシャ)」と呼ばれます。花の香りがとても強いため、香料として香水などにも使われます。甘く優しい香りで、ハワイの人たちからとても愛されてきました。ハワイの結婚式では、花嫁の首にいくつものホワイトジンジャーのレイをかけてあげて、豊かな香りで花嫁を祝福するそうです。ハワイの人達は、ホワイトジンジャーの球根から搾り取った液で、髪を洗っていたと言われていました。花言葉の由来は、心地よい気分させてくれる花の香りにちなむと言われていました]

5. その他の報告 (松本会員)

- ・全国藩校サミット壬生大会についてご報告申し上げます。先日は、イベントが開催され当クラブからも何名か参加されておりましたが、いよいよ本番に向けて準備が整って参りました。11月20日(土)、21日(日)の二日間に亘って開催されます。皆様のお陰で「藩校サミット」が賑やかに成功を収められることと思います。ご協力を有り難うございました。
- ・この度、自叙伝を作成しました。作成には1年超の時間がかかりました。本来は、8月に出来上がる予定でしたが、最初の3ヶ月は資料集めをしたり、執筆中も記憶を辿ったりすることに時間がかかったりして、今日に至ってしまいました。今日は、皆様にお配りしたいと思います。自宅で読んで頂ければ有り難いと思います。

6. その他の報告（篠原会員）

- ・先日、茂木町の「いい里さかがわ館」へ行って参りました。河田さんも元気になっておられました。本日のお弁当の中に「さかがわ館の大根の漬け物」を使ったお寿司がありますので、ご賞味頂ければと思います。

7. 例会内容

《地区大会報告：高山会長》

壬生ロータリークラブ表彰について

「2020-21年度ロータリー賞」受賞 「地区功労賞」川嶋パストガバナー補佐受賞

「Every Rotarian, Every Year/100%ロータリー財団クラブ」受賞

「長寿会員（松本幸三会員、栗原信明会員、安楽之孝会員）」受賞

*馬頭小川ロータリークラブより「マスク一箱」が各クラブに贈呈されました。このマスクは馬頭小川 RC の姉妹クラブである「台湾 第 3462 地区太平扶輪社（太平 RC）」より友好の証として贈呈されたものだそうです。各クラブで例会時にマスクを着用した写真を送って頂ければ、姉妹クラブに送りますので、ご協力を宜しくお願いしたいとのことです。

《会員卓話：川嶋健市副幹事》

久しぶりの卓話をさせていただきます。前回はきのこの話をさせていただきましたので、今回はなぜ、きのこの世界に足を踏み入れたのかという話をさせていただきます。

私の生まれは群馬県桐生市で、小学校 6 年の時に父の仕事の都合で足利市に転居しました。足利工業高校電気科に入り、18 歳で群馬県大泉町にあった東京三洋電機という会社に就職をしました。小学 6 年生のときに新聞配達で、中学生の時には牛乳配達で家計を助けていたので、大学に行くのは経済的に無理だとわかっており、足工の電気科に入って、電機メーカーに行くという、流れのままに就職をした感じです。

事業所には当時 7,000 人ほどの従業員がおり、いくつもの工場があって、私はテレビ工場に配属されました。製造されるテレビの中には半田付けが甘かったり、部品が間違っっていたりして、不良となったものがでますので、その原因を調べて修理するという仕事を任せられました。1 年目は、先輩に教えてもらい仕事を覚えることに精一杯で、1 日 20 台位の不良品を直すのがやっとでしたが、2 年目になるとコツがわかってきたので、50 台の不良品を 3~4 時間もあれば、直してしまうことができました。空いた時間はテレビを見ていたり、ベルトコンベアで作業をしている人のトイレ休憩の交代作業をしたりしていました。

会社ではハイキングやバス旅行、ボーリング大会など様々なレクリエーション活動を行なっておりまして、私もレクリエーションリーダーという資格を取らせてもらったりしていました。労働組合の大会で質問したことがきっかけで、組合の支部役員となり、機関誌の編集委員長をさせていただきました。そんな時、本社の保健課長さんが訪ねてきて、テレビ工場での山のクラブを作るので、君に会長をやってもらいたいとのことで、1 ヶ月後にはワンダーフォーゲル同好会ができ、毎月 20~30 人の会員を連れて山登りを楽しみました。

2 年目からは仕事を覚えて楽になりましたし、友達もできるし、趣味の山登りもできるし、楽しいのに、なぜだかこれでいいのだろうかと思うようになっていきました。

人生は一遍きりだしなど、はじめて自分の人生を考えるようになりました。山登りが好きだったので、山の関係の仕事をしたいとだんだん思うようになっていきました。

21歳になったとき、思い切って会社を辞め大学で山の勉強をしたいと決意をしました。自己流で受験勉強をして、22歳で山形大学の林学科に入学しました。

大学の研究室では造林という林をつくる研究をしたかったのですが、ある研究室のきのこ採集会に誘われたことが人生の転機となりました。きのこ採りは子供のころから父親に連れられて、よく行っていましたし、図鑑を買って勉強したこともありました。林を見ると、ここにはどんなきのこが生えるか見当がつかまりましたので、採集会の列から離れてウラベニホテイシメジやコウタケといった大きなきのこを何本もとってきたりしたのをきっかけで、先生から、「川嶋君はきのこに詳しいね。」と言われ、当時人工栽培ができないと言われていたマイタケ栽培を卒論研究としてやらないかと進められましたが、最初は断っていました。しかし先生の熱心さと人柄に触れていくうちに、マイタケ研究を卒論のテーマとしてもいいかなと思うようになりました。

卒論研究に取り組み、ある日のこと、戸棚の中で栽培していた200本余りのビンを観察しようと扉を開けたとき、2本のビンからマイタケが生えたのを見つけました。18gと32gという小さなものですが、その瞬間、身体を電気が通り抜けたようなショックを覚え、きのこの研究を仕事としてやりたい！と、突然決意が生まれました。

最初は生まれた地・桐生市にある森産業さんというきのこ種菌トップの会社に入るつもりで会社訪問をしたのですが、先生の屋久杉の調査に同行している間に入社試験が終わってしまうというアクシデントがあり、急遽、今の会社・北研を紹介してもらって45年目となっています。

私は、人より4年遅れて大学に入りましたが、いくつになっても、やり直したいと思ったら、これをしたかったら、遅いということはないのだと思っています。人生は一回きりですから、やり直したいと思ったら、いつでもやり直していい、チャレンジしていいのだと思います。

時間がきましたので、『きのこの世界に入るきっかけ』の話を終わらせて頂きます。



卓話(川嶋健市会員)



「地区功労賞」川嶋健市パストガバナー補佐



「2020-21 年度ロータリー賞」



「ロータリー財団クラブ」受賞



松本幸三会員(長寿会員賞)



栗原信明会員(長寿会員賞)



安楽之孝会員(長寿会員賞)



松本会員の自叙伝(追憶の記)



馬頭小川 RC の姉妹クラブである 台湾 第 3462 地区太平洋扶輪社(太平洋 RC)よりの友好マスクを着用



会場全会員が台湾太平洋扶輪社(太平洋 RC)よりの友好マスクを着用



「篠」お弁当(さかがわ館漬け物)

11月 ロータリー財団月間

11月17日(水)	年次総会(役員理事選挙)	日本料理「篠」
20日(土)	移動例会「第18回全国藩校サミット壬生大会」参加	壬生町城址公園ホール
24日(水)	休会	